

## 幼児教育センターで実施した研修会の紹介 (後半)



### こども教育研修会



参加者のアンケート回答の中から、一部を紹介いたします。

〈第5回〉 10月6日(木)  
講話・実技  
「幼児の動きに応じた表現①」  
～音楽あそびと音づくり～  
講師：児童文化センター 過外美里 指導主事

- ・子どもたち一人一人の思いを大切にしながら一緒に「音を楽しむ」ことの大切さに改めて気付くことができました。
- ・「音楽」という視点から、幼保小の連携について考えることができました。

〈第6回〉 10月21日(金)  
実践発表・協議・講話「子どもを見る」  
～気になる行動と発達特性～  
講師 毛塚 恵美子先生(幼児教育アドバイザー)

- ・実践発表、他園所の人と2人組で協議、講師による講話という研修の構成で、子どもの見方について理解が深まりました。
- ・子ども同士の「意図の共有」ができるように、また、子どもの「発達の芽」を見付けられるように心掛け、保育していきたいと思いました。

〈第7回〉 11月18日(金)  
講話  
「幼児の発達に応じた表現②」  
～形や色～  
講師 群馬大学准教授 喜多村 徹雄先生

- ・子どもに「上手に」「きれいに」絵をかかせようとしていた保育者の自分に気付きました。
- ・表現している子どもの思いに寄り添い、共感し、子どもの想像力がふくらむような言葉を掛けていきたいと思いました。

〈第8回〉 1月26日(木)  
協議・グループワーク研修  
「保育の悩み、相談しよう」  
～指導・援助の方法を探る～  
講師 大島みずき先生、田子文子先生、横坂好枝先生、渡邊俊先生(幼児教育アドバイザー)

- ・他園所の人たちと話をし、いろいろな立場からの意見や助言がもらえてよかったです。
- ・「子どもの行動には意味がある」「子どもの立場になって考えてみる」ということを心に留めて保育したいと思いました。
- ・「横ならびのまなざし」で、これから保育をしていきたいと思いました。

〈第9回〉 2月16日(木)  
講話と協議  
「必要な体験から教材を考える」  
講師 横坂 好枝先生(幼児教育アドバイザー)

- ・幼児期に、実際に、子どもが体験すること、没頭して遊ぶことが何より大切だと思いました。
- ・子どもが、自分で考えて工夫することで、満足感や充実感を得ることができると思うので、保育者は大人の思いを先行させるよりも、子どもを信じて見守ることを大切にしたいです。

### 市立幼稚園保育研究会

7月1日(金)  
公開園：前橋市立宮城幼稚園  
テーマ「すすんで環境にかかわりじっくりと遊ぶ幼児の育成」  
～「保育のイメージシート」を踏まえた幼児の姿の見取りと環境の構成を通して～

- ・自発的に行う活動が「遊び」、主体的な遊びが大切ということがわかったので、子どもが自分の思いを実践できる保育をしたいと思いました。
- ・「保育のイメージシート」が参考になりました。
- ・幼・保・小の職員が参加していて、研究協議でいろいろな立場の人の考えが聞けてよかったです。

### 幼児教育アドバイザーによる出前研修・出前相談

園所からいただいた感想より、一部を紹介させていただきます。



- 普段通り、いつも通りの保育を見てもらうようにしたので、特別な準備がいらなくてよかったです。
  - 保育のよいところを具体的に認められたので、保育者が「これでいいんだ」と自信をもてました。
  - 子どもの姿をどのように捉えたらよいのか、具体的に学べてよかったです。
  - 気になる子どもにどう対応したらよいのかを、職員みんなに広めて、園所全体で実践していきます。
  - カンファレンスの時間があっという間でした。いろいろな質問に答えてもらえました。
  - 幼児教育アドバイザーの先生の話、また聞きたいと思いました。
  - 相談しやすくよかったです。1回だけでなく、また続けてお願いします。
- ※この他にも、たくさんの感想をいただきました。ありがとうございました。